

社協から 今月のお知らせ



守山市社協キャラクター
もりびー



赤い羽根共同募金が 始まります

本年度も、10月1日(火)から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されます。

皆さまからご協力いただいた募金は、自治会子育てサロンへの活動助成、ねたきりなどの高齢者へのふとん丸洗いサービスの提供、子ども福祉委員活動などの市社協の活動や、大規模災害時には災害ボランティア活動への支援などの広域的な事業にも役立てています。

上記の事業を実施するため、1,335万円を目標として、市民や企業、学校、団体などの皆さまに協力を呼び掛けてまいります。

「じぶんの町を良くするしくみ」共同募金運動に皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



赤い羽根共同募金について

- ・一般募金 10月1日(火)～11月30日(土) 目標額970万円
- ・歳末たすけあい募金 12月1日(日)～31日(火) 目標額315万円
- ・子どもの育ち応援募金 令和7年1月1日(水・祝)～3月31日(月) 目標額50万円

※共同募金への寄付金は、税制の優遇措置の適用が受けられます。
※共同募金へのご寄付をお考えの方は、気軽にご相談ください。



ある社会福祉士のひとこと



「敬老の日」と「老人の日」

「敬老の日」は、毎年9月の第3月曜日に設定された国民の祝日で、長年社会に貢献してきた高齢者に感謝を示す日です。昭和41年に制定され、その起源は昭和22年に兵庫県で始まった「としよりの日」です。

老人の日は9月15日で、老人福祉法に基づき平成13年に設けられました。この日は、高齢者への理解を深め、福祉の向上を図ることを目的としています。また、9月15日～21日を「老人週間」として啓発活動が行われます。

背景は異なりますが、ともに「高齢者福祉に関心をもってもらう」という目的が含まれています。超高齢社会、地域共生社会といわれる今、もっと身近に高齢者とふれ合い、ともに考えていくことが大切です。

守山市社会福祉協議会

☎・☎(583)2923 FAX(582)1615

✉fukushi@moriyama-shakyo.or.jp



守山市
社会福祉協議会
ホームページ

絵具よもやま話

佐川美術館一アートコラム 85

学芸員…佐川美術館
上村友理



まだまだ暑い日が続きますが、暦の上では秋になりました。秋といえば芸術の秋、美しい景色、芸術作品、映画や音楽などから刺激を受け、無性に絵を描きたくなる人もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな時は、画材店に行くのがおすすめです。棚にずらっと並ぶ画材は、見ていられるだけでも心が弾みます。

画材の中でも「絵具」に注目してみると、水彩、油彩など色々あり、その形状も粉末、液体、固形、チューブ入りと実にさまざまです。その中でもなじみ深いチューブ入り絵具が生まれたのは比較的新しく、1841年にアメリカ人の画家ジョン・G・ランドが発明しました。

それまでも皮袋や注射器型入りなどがあったものの、保存や詰め替えなど不便なところがありました。チューブ入りや一般に広く浸透したのは、不便さを解消したことに加え、19世紀の産業革命後、交通網の発達に伴い、郊外での屋外制作が画家たちの中で流行したことが後押しになったと考えられます。

携行性に優れ、かつ長持ちし、常に同じ色で描けるチューブ入り絵具は屋外での制作にうってつけでした。実際、19世紀に活躍した印象派の巨匠・ルノワールは、チューブ入り絵具がなかったら印象派は存在しなかっただろうと語っています。

近代以降に芸術制作が身近になったのも、それを支える技術革新があつてこそです。見慣れた画材一つにも、その背景にはさまざまな人に支えられた歴史があると思うと感慨深くなります。

*絵具商が発達する以前、画家はその時必要な分量の絵具を工房の徒弟または自身で作っていた。そのため、絵具の出来は個人の技量次第であり、現在のよつに安定した品質・色ではなかったと考えられます。

※開館情報は、佐川美術館ホームページでご確認いただくか、電話☎(585)7800]でお問い合わせください。